

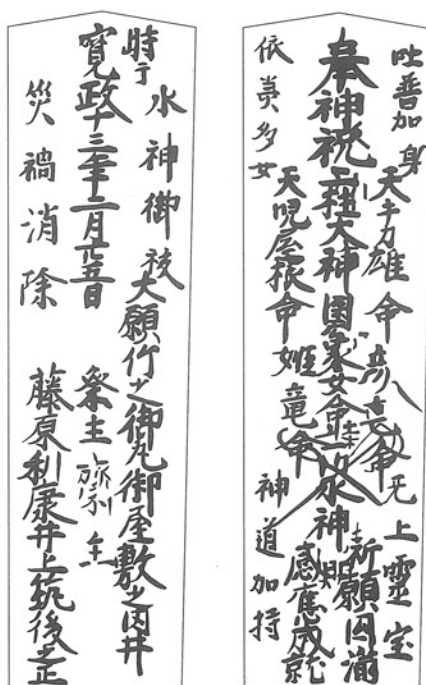
9 関係文献

(財)広島市歴史科学教育事業団『広島城県庁前地点発掘調査報告』  
(一九九四年)

(財)広島市文化財団『広島城跡太田川河川事務所地点』(二〇〇六年)

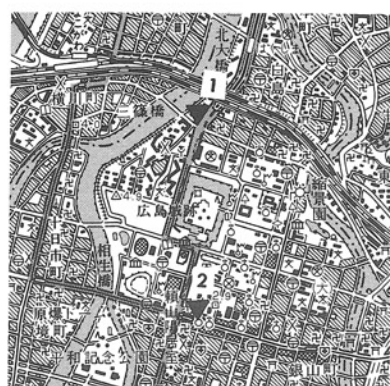
(株)パスコ・(財)広島市文化財団『広島城跡司法書士会館新築地点発掘調査報告書』(二〇〇七年)

(福原茂樹)



三(13)

ひろしまじょうそとぼり  
広島・広島城外堀跡



(広島)

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要  
一 城北駅北交差点地点  
調査地は、外堀の北西隅部にあたる。文献によればこの付近はもとと川であったものを一七世紀初めに堀としたとされており、明治になって埋め立てられて

- 1 所在地 一 広島市中区西白鳥、二 同紙屋町・大手町
- 2 調査期間 一 一九九五年(平7)十一月～十二月、二 一九九六年八月～一九九七年二月
- 3 発掘機関 一 (財)広島市歴史科学教育事業団、二 (財)広島市文化財団
- 4 調査担当者 一 大室謙二・篠原達也、二 篠原達也・玉置和弘
- 5 遺跡の種類 城郭跡(外堀)
- 6 遺跡の年代 中世末・近世・近代

いる。調査の結果、堀内の堆積土から陶磁器・瓦などとともに木簡一点が出土した。

## 二 紙屋町・大手町地点

調査地は南側外堀の一部にあたる。木簡一点が出土したのは「研屋町御門」から外堀を渡って城外へ出る土橋と、これと並行して堀内にある石列との間である。石列は長さ三・一六m幅〇・五mで、北側にさらに延びている。石列自体に伴う遺物は出土していないが、土橋と石列の間からは近代の陶磁器が出土している。

## 8 木簡の釈文・内容

### 一 城北駅北交差点地点

#### (1) 「。筒井□□□」

175×49×11 011

上部に径約一〇mmの穿孔がある。表札と思われる。元治元年（一八六四）以降に成立した『家中屋敷割図』によると、調査区付近に「筒井五十鈴」「筒井保三郎」の名が見える。

### 二 紙屋町・大手町地点

#### (1) ・〈御年貢米

・〈御年貢米□

(123)×34×4 039

下端は折損する。「御年貢」という呼称は一八七二年の地租改正

以前に使用されていたと考えられるため、近世の遺物である。

## 9 関係文献

（財）広島市歴史科学教育事業団『広島城外堀跡城北駅北交差点地点発掘調査報告』（一九九七年）

（財）広島市文化財団『広島城外堀跡紙屋町・大手町地点』（一九九九年）

（福原茂樹）



一(1)



二(1)